★ キイトルーダ＋PAC＋CBDCA療法21d：16030053　　2024年11月(第4版)　00

診療科・対象疾患	呼吸器・乳腺外科・乳癌
プロトコール名	キイトルーダ＋PAC＋CBDCA療法21d
1コース日数	21日
催吐リスク分類	中等度

薬剤名	投与量	day1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21							
キイトルーダ注	200mg/body	●																											
パクリタキセル注	80mg/㎡	●							●							●													
カルボプラチン注	AUC5	●																											

治療スケジュール

処方

レスタミン錠(10)	5錠	1日1回　朝（day1、8、15）
アプレピタントカプセル(125)	1C	1日1回　朝（day1）
アプレピタントカプセル(80)	1C	1日1回　朝（day2、3）
デカドロン錠(4)	1錠	1日1回　朝（day2、3、必要時4）

※ 投与の際はドリップアイを使用

※ アプレピタントカプセル125mg 1日1回抗がん剤投与開始1時間～1時間30分前

※ 4コース施行後、キイトルーダ+AC療法へ

Day1

生食 500mL（ルート確保用）
フィルター付ルート使用
→ 生食 100mL キイトルーダ注 200mg/body
→ 30分 → 生食 50mL
→ 15分 → レスタミン(10) 5錠 / パロノセトロン点滴 0.75mg / デキサート注6.6mg / ファモチジン注20mg
→ 15分 → 5%糖液 250mL パクリタキセル注 80mg/㎡
→ 60分 →

5%糖液 250mL カルボプラチン注 AUC5
→ 1時間 → 終了

Day8、15

生食 500mL（ルート確保用）
フィルター付ルート使用
→ レスタミン(10) 5錠 / グラニセトロン点滴 3mg / デキサート注6.6mg / ファモチジン注20mg
→ 15分 → 5%糖液 250mL パクリタキセル注 80mg/㎡
→ 60分 → 終了

福岡大学筑紫病院